



# Monthly YSFH News (Electronic version)

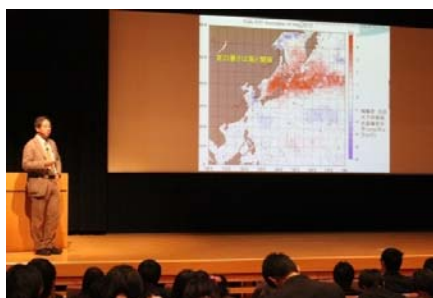
発行:横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644  
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

立春も過ぎ、寒さが少しずつ和らいできました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。2月に入り3年次生は自主登校となり、少し静かな校内となっています。

2月1日より入学願書受付を開始しました。早いもので、「第5期生」となる生徒の募集となります。本校をめざして県内から多くの中学生が願書を提出しにきています。2月15日から入学者選抜が始まり、2月28日が合格発表となります。

3月2日(土)は第2回卒業証書授与式です。本校で3年間学び抜いた生徒たちが巣立っていきます。将来の活躍を期待して、暖かく見守っていただければ幸いです。

## 【サイエンスリテラシーⅠ：極限環境生物】(1月9日)



サイエンスリテラシーⅠ「極限環境生物」についてご紹介します。

三輪 哲也先生(独立行政法人海洋研究開発機構 海洋工学センター海洋技術開発部 先進計測技術グループリーダー)にご来校いただき、講義をしていただきました。講義では「JAMSTECの仕事」、「浮力バランスのメカニズム」、「極限環境に生息する生物」などをご説明いただき、講義後は「極限環境に生息する生物はどのような特徴を有しているのでしょうか?」また「海を調査しようとする、技術的困難にぶつかります。どのような技術革新をすれば、この困難を打開できるのでしょうか?」などの事後課題をいただきました。生徒たちは講義で得た知識を元に、懸命に考えていました。

## 【第10回後期和田サロン～時空計算尺・岡山地学巡検報告～】(1月10日)

前半は和田先生が発明した「時空計算尺」についてご説明いただきました。これは「時間」や「距離」を対数で表現・比較出来るものです。例えば、「地球誕生からの46億年」と「人類誕生からの約600-700万年」はあまりに大きな数字で実感が湧かないものですが、これを使うと目に見える形で比較でき、「対数」を感覚で理解出来ます。

また、後半は「岡山地学巡検」についての報告会が行われました。「岡山県の中・古生代の地層の観察の様子」などを写真を多く使いながら、非常に分かりやすく説明しました。今後は学習内容をまとめ、日本列島の形成史と、プレートの動きとを関連づけた研究発表につなげていくということです。



## 【カナダ大使館訪問】(1月11日)



3月の「バンクーバー姉妹校交流プログラム」へ向けた事前学習の一環で、20名の生徒たちがカナダ大使館を訪問し、大使館職員の方々にカナダに関する説明をしていただきました。

(参加生徒感想)

- ・「クイズ形式のプレゼンに対して積極的に答える時間で、事前学習で知り得た以上の情報を日本語と英語で学びました。」
- ・「インターネットで調べても分からないことをたくさん教えていただき、とても有意義な時間を過ごせました。」

## 【サイエンスリテラシーⅠ：燃料電池自動車】(1月16日)

サイエンスリテラシーⅠ「燃料電池自動車」についてご紹介します。

日産自動車株式会社の皆様にご来校いただき、講義・燃料電池自動車キット作成・燃料電池自動車試乗をしていただきました。「講義」において知識を吸収し、「キット作成」で構造を理解し、「試乗」において体感することができました。講義を受けた生徒からは「燃料電池自動車の量産化の課題は?」などの活発な質問、試乗した生徒からは「音も無く加速するので驚いた」という感想が出るなど、非常に充実した時間となりました。



## 【大学入試センター試験応援】（1月19日）



本校教職員で「大学入試センター試験」の受験生応援を行いました。会場である東京工業大学大岡山キャンパス正門にて「メッセージを書いたキットカット」を配布し、「平常心で頑張って」などの声かけを行いました。生徒は少し照れながらも、嬉しそうにキットカットを受け取り、会場へ入って行きました。長期にわたる大学受験。全力を出し切り、悔いない進路を選択してくれたらと思います。

## 【文芸部の活躍：高等学校総合文化祭総合閉会式】（1月19日）

「平成24年度 第16回高等学校文芸部誌コンクール」で本校文芸部誌「下駄箱 第5号」が【教育長賞】を受賞し、「高等学校総合文化祭総合閉会式」において表彰されました。この結果、今夏に行われる「全国高等学校総合文化祭長崎大会」に出場することとなり、2年連続での教育長賞受賞、全国大会出場となりました。本校の目指す「世界で幅広く活躍する人間の育成」には日本文化への深い理解も重要であり、文芸部の活躍は非常に誇らしく思います。また、文芸部の生徒のみならず「平成24年度 第31回高校文芸コンクール」でも多くの表彰を受けることができました。



## 【サタデーサイエンス：進化について】（1月19日）



Dhugal Lindsay先生（独立行政法人海洋研究開発機構 海洋・極限環境生物圏領域 海洋生物多様性研究プログラム 深海生態系研究チーム 技術研究副主幹）にご来校いただき、講義をしていただきました。

テーマは「進化」であり、「自然選択」や「遺伝子の変異」などについて「ダーウィンフィンチ」などの具体例を交えて全て英語でご説明いただきました。専門用語が多く非常にレベルが高いものとなりましたが、生徒たちは少しでも理解しようと集中していました。全てを理解することは難しいかもしれませんが、今回感じた「悔しい」という想いを今後の勉強のモチベーションとしてほしいと思います。

## 【体験！化石の教室】（1月27日）

「横浜青少年サイエンスセンター事業」の一つである【体験！化石の教室】が本校にて行われました。

本校天文部岩石班が中心となり、「化石についての説明・年表穴埋め指導」、「化石レプリカ作成の指導」、さらに化石レプリカの石膏が乾く間に「クイズ大会」を行うなど、参加者を飽きさせないよう工夫した内容でした。2時間はあっという間に経過し、参加した小・中学生は完成した「三葉虫」や「アンモナイト」の化石レプリカを手に帰って行きました。



## 【サイエンスリテラシー：コンピューティング最前線】（1月30日）



サイエンスリテラシーⅠ「コンピューティング最前線」についてご紹介します。日本マイクロソフト株式会社の加治佐 俊一様（業務執行役員、最高技術責任者）をはじめとする社員の皆様にご来校いただき、講義をしていただきました。まずは「Kinect」（センサーの一種で、高度な情報処理技術により、赤外線センサーを使って人間の動きや姿勢を検出できる）について、実用例である「動作認識」や「表情認識」などをご説明いただきました。その後は生徒たちが「Kinectのようなセンサーを使った、社会の役に立つプロジェクト」を考え、発表する時間となりました。生徒たちの互選により発表するグループが決まり、発表を行い、質問も活発に行われました。

## ●2月、3月の予定●

2月15日-20日：第5期生 入学者選抜

2月24日：天文教室

2月28日：第5期生 入学者選抜 合格発表

3月2日：第2回卒業証書授与式

3月12日：第5期生 入学説明会

3月26日-28日：ブリティッシュヒルズ語学研修

3月29日-4月5日：バンクーバー姉妹校交流プログラム